

通級通信

茨城県立結城第二高等学校
令和7年度 第2号
令和7年10月7日発行

朝や夕方は涼しくなり、ようやく秋らしくなってきましたね。体調はいかがですか？
好きなことや、何かやるべきことがあると、ついつい無理をし過ぎてしまうことがあります。
物事を長続きさせるためには、心身の適度な休息も大切です。疲れ具合や物事の考え方など、自分の
傾向や特性を知っておくことはとても大切なことです。
今回は、頭の中での情報の処理の仕方のタイプについて取り上げていきます。

「継次処理」と「同時処理」

頭の中での情報の処理の仕方のタイプには、「継次処理」と「同時処理」があるとされています。

「継次処理」…物事を順序だてて、一つ一つ処理していくタイプ



「同時処理」…物事の全体を捉えて処理していくタイプ

継次処理

同時処理



道案内を例に見てみましょう！「継次処理」型は、物事を順序だてて考えるタイプです。道案内などの場合に、「〇〇のところを曲がって」「2つ目の信号を右に曲がって」など、動き方を一つ一つ確認していく方が理解しやすいパターンです。一方、「同時処理」型は、全体像を見て考えるタイプです。地図を見て現在地と目的地の位置関係を把握して、イメージを膨らませながら理解するパターンです。

あなたはどちらのパターンでしょうか？ このパターンを知ると、物事の理解がしやすくなったり、説明がしやすくなったりするかもしれません。